



### 1. 内分泌内科・糖尿病内科の特徴

従来成人病といわれた糖尿病・高血圧・高脂血症などの生活習慣病の著増に伴い、内科疾患のプライマリケアにおいて当科での研修の重要性がますます高まっています。当科は、埼玉県西北部の内分泌疾患や代謝疾患の診療の基幹施設として、全国でも有数の患者数を有しています。当科の特徴として、これら糖尿病をはじめとする生活習慣病の診断と治療全般を体系的に修得できます。特に糖尿病教育入院についてはクリニカルパスを使ったチーム医療を体験することができます。また内分泌疾患の診断と治療についても、日常よく遭遇する甲状腺疾患から稀な下垂体や副腎疾患を経験できます。さらには、最近注目されつつある骨粗鬆症についても、最新の診断と治療法を学ぶことができます。現在、糖尿病や高血圧の先進療法などにも力を入れており、先端的医療を提供できるよう努めています。

### 2. 診療実績（平成 27 年度）

病床数 37 床、外来診療単位 50 単位

平成 27 年度の入院患者数 870 人

入院患者の主な疾患の内訳は以下の通りであった。2 型糖尿病 329, 1 型糖尿病 39, 糖尿病ケトアシドーシス 11, 非ケトン性高浸透圧性昏睡 6, 糖尿病性壊疽・潰瘍 18, 低血糖症・昏睡 8, 肥満の減量 26, 高血圧症 176, 脂質異常症 114, 高尿酸血症 16, 下垂体線腫 8, 下垂体機能低下症 12, 末端肥大症 4, 尿崩症 5, 甲状腺機能亢進症（Basedow 病）36, 甲状腺機能低下症 10, 甲状腺腺腫・腫瘍 86, 骨粗鬆症 16, Cushing 症候群 7, 原発性アルドステロン症 16, 褐色細胞腫 2, 副腎腫瘍 10, 副腎皮質機能低下症 8, 副腎クレーゼ 2

平成 27 年度の 1 日外来患者数 139.3 人, 年間外来延べ患者数 37,198 人, 通院糖尿病患者数:約 3,600 人。

### 3. 診療科の体制（指導責任者平成 28 年 9 月現在）

片山 茂裕（名誉教授）：内分泌代謝疾患一般（糖尿病、高血圧、下垂体・副腎疾患）

島田 朗（教授）：内分泌代謝疾患一般（糖尿病、内分泌代謝疾患）

野田 光彦（教授）：内分泌代謝疾患一般（糖尿病、内分泌代謝疾患）

井上 郁夫（准教授）：脂質異常症、肥満症、糖尿病

一色 政志（准教授）：内分泌疾患、高血圧

栗原 進（准教授）：糖尿病、肥満症

野口 雄一（講師）：高血圧

小野 啓（講師）：糖尿病

安田 重光（講師）：内分泌代謝疾患（特に副甲状腺、骨粗鬆症）

### 4. プログラムの目的と特徴 当科における研修 3 年目より 6 年目のプログラムは以下のようになっている。

- 1) 引き続き内科ローテーションを 1 年行い、4 年目に入局。内分泌代謝関連の専門医を目指す。
- 2) 当科に入局し、研修を行う。内科認定医、総合内科専門医、内分泌代謝関連の専門医を目指す。
- 3) 大学院に入学。当科の研究室にて基礎的・臨床的研究を開始する。
- 4) 当科関連病院にて研修を 1 年行った後、当科に入局。
- 5) 大学院生および 4) を除き 5 年目ないし 6 年目に関連病院での研修を 1 年行う。
- 6) 大学院終了後は当科ないし関連病院にて研修を行うか、希望者にはさらに研究を継続するか、海外への留学も可能である。

3年目、4年目では内分泌代謝疾患を主としつつも、内科全般を網羅できる医師を目指し、5年目までに内科認定医を取得することを目標にする。5年目以降では内分泌代謝疾患の専門医としての知識・技術を身につけながら、指導医として研修医を指導できることを目標とする。総合内科専門医、糖尿病専門医、内分泌専門医、高血圧専門医、甲状腺専門医、動脈硬化専門医、肥満症専門医などの資格取得を目指す。

## 5. 取得可能な資格

- 1) 内科認定医
- 2) 総合内科専門医
- 3) 糖尿病専門医
- 4) 内分泌代謝科専門医
- 5) 高血圧専門医
- 6) 甲状腺専門医
- 7) 動脈硬化専門医
- 8) 肥満症専門医

## 6. 大学院

大学院に入学すると、希望により各グループに配属され研究テーマが与えられる。大学院在学中は、日直以外は研究室で実験を行う。卒業後は病棟で研修を続けるが、希望者は引き続き研究を継続するか、国内ないし海外留学も可能である。

当科で行われている研究テーマは以下の様である。

### 1. 糖尿病グループ

糖尿病の発症機序・関連遺伝子の解析、糖尿病・肥満症の分子病態解明、糖尿病治療の臨床的研究。

### 2. 高血圧グループ

インスリン抵抗性や内膜肥厚に対する薬物効果とその機序に関する分子生物学的検討。

### 1. 脂質異常症グループ

脂質代謝の基礎的・臨床的研究。

### 2. 内分泌グループ

内分泌疾患の臨床的研究。

主として分子生物学的手法を用いた基礎的研究が多いが、臨床にフィードバックできるような研究を行っている。また、薬効評価などの臨床的な研究も盛んである。

## 7. 連絡先：内分泌内科・糖尿病内科

担当者名：安田 重光

TEL：049-276-1204

E-mail：[syasuda@saitama-med.ac.jp](mailto:syasuda@saitama-med.ac.jp)

ホームページ：<http://www.saitama-med.ac.jp/uinfo/mnaika4/>

